たかはま
だからこそできる
すてきな
まちづくり

～地域に根ざしたまちづくり～

「町内会活動もっと知っていただきたい　きっといいことがあるはず」

高浜市には18の町内会があり「班」という単位でその積み重ねをネットワークとし、地域に根ざしたまちづくり活動を行っています。現在湯山町の会長である深谷さんに活動についてお話を伺いました。

湯山町町内会長　深谷清博さん
総合防災訓練にて

つながりが大事

私が住んでいる湯山町は転入者が多く、ご近所さんとのつながりが課題であると考えています。ですのでまずは、活動やイベントに参加して顔見知りの方を増やしていきたい。顔見知りになって、ご近所同士であいさつしていると、まちに悪い人が来なくなる効果もあるそうです。あいさつが犯罪を減らすことにもつながるということを知っていただきたいと思います。

いつかおこる大災害のためにも…

防災の面でいえば、台風・地震などいつおこっても対応できる体制づくりも日ごろから整えておく必要があります。

町内会においては防災訓練を年1回行い意識を高めるとともに、町内会の役割である共助の部分をしっかりと構築しておくことが重要です。大震災時には近所づき合いのあるところほど、地域で救助ができたとのこともよく聞きますしね。

きっといいことがあると信じて…

「いまの時代近所づき合いなんてなくても生活していける。」と思われる方がいるかもしれませんが、加入してみると「生活していく上での困りごとなどを気軽に相談できる。」などきっといいことがあるはずです。町内会活動は防犯・防災、環境美化、イベントや広報・回覧物の受け渡しなど生活のあらゆることにかかわってきます。生活の基礎を担っているのです。

最後にひとこと

長年たかはまに住んでいますが、小さなまちだからこそ町内会同士の連携も行いやすいと感じています。今後もお互いに譲り合い、助け合っていく、自分ひとりのまちではなくみんなのまちたかはまという意識を持っていただけるように今年度会長として職務に励んでいきたいと思います。

「町内会」って何やっているの？

①防災訓練のようす
多くの町内会では9月の第1日曜日に合わせて防災訓練を実施し、タオルかけによる安否確認を行ったり、非常時に備えた体制づくりを確認しています。
皆さんもタオルかけなどに参加して近所に「私の家は無事です。」と伝えることから始めてみましょう。

②市民一斉清掃のようす
自分の住んでいる町内がゴミであふれていたり悪臭が漂ったりしたらいやですよね。
「1人で100のゴミ拾いではなく、100人が1つずつ、のゴミ拾い。」みんなでやれば、まちがもっときれいになります。

③④町内会主催の祭りのようす
ふれあいの場はどの組織にも交流として重要なことです。ふだん、仕事に行っておりなかなか地域活動に参加できない親も、子どもをとおして他の家族と話しがはずむ、なんて光景をよく見ます。
イベントに参加することもまちづくりへの第一歩です。

問合せ先　市総合政策グループ　☎52-1111（内線366）